

修猷館・筑紫ヶ丘・福岡合格コース

学力確認

単元別強化

定期試験対策

過去問対策

◎ 年間スケジュール 定期考査では9割以上・模試での偏差値は67以上を常に取れるように

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
行事	トライ模試	トライ模試	トライ模試	トライ模試	トライ模試	トライ模試	トライ模試			
トライ対策スケジュール	トライの夏特訓		定期考査対策			トライの冬特		試験直前対策		
	<ul style="list-style-type: none"> ・現状学力の確認 ⇒5教科の単元別詳細まで ・学習習慣の改善 ⇒学習の意識・習慣改革 ・苦手単元 ⇒夏休み中に苦手は克服 		公立受験では、内申点も非常に重要です。2学期の内申点はしっかり稼いで頂きます。テスト範囲を繰返し指導し、暗記科目と演習科目とに分けて、点数UP。勿論、受験へ向けた実力UPも考えた指導を行います。			偏差値・トライ模試で、合格基準ラインを確認して必要単元		私立受験との兼ね合いも考え、指導にあたります。		
ポイント	6月に実施された期末テスト見直しを行い、間違いを理解します。苦手単元診断を行い、学習内容を組みます		夏特訓開始 1,2年生分の総復習を行います。トライ独自の学習法によるテキスト全見直しと苦手単元克服します。		実力アップのための応用力を身につけます。応用問題に挑戦し考え方、解き方を付けます。		中間テストで成績アップするために出題範囲を徹底的に繰返し学習します。内申点を上げる重要なテストです。		期末テストで成績アップするために出題範囲を徹底的に繰返し学習します。内申点を上げる重要なテストです。	
					理科・社会科目対策		過去問で、目標点数を確実に取れるまで徹底。			
	6月に実施された期末テスト見直しを行い、間違いを理解します。苦手単元診断を行い、学習内容を組みます	夏特訓開始 1,2年生分の総復習を行います。トライ独自の学習法によるテキスト全見直しと苦手単元克服します。	実力アップのための応用力を身につけます。応用問題に挑戦し考え方、解き方を付けます。	中間テストで成績アップするために出題範囲を徹底的に繰返し学習します。内申点を上げる重要なテストです。	期末テストで成績アップするために出題範囲を徹底的に繰返し学習します。内申点を上げる重要なテストです。	私立高校の過去問題演習を行います。10年間分に挑戦し、問題の感覚を身に付けます。また、傾向を掴みます。	私立高校入試⇒合格！理社の学習もこの時期、時間を取り学習します。重要単元などを中心に暗記します。	公立高校志望校別過去問題演習を行います。10年間分に挑戦し、問題の感覚を身に付けます。	公立高校入試⇒合格！	

◎ こういう生徒にお勧め！

- ・トップレベルの高校を志望する全ての生徒
- ・受験勉強の進め方に不安がある生徒
- ・現状合格判定がD・Eだが、合格したい生徒

◎ 対象学年

中学3年生（1・2年生）

◎ 指導の進め方

志望校別に、
 ①ご本人の現状学力
 ②志望校の必要偏差値・得点
 ①②を分析の上、合格の為に必要な指導時間を割り出し、具体的な目標を持って指導を行います。また、過去問での点数を元に、本番までの必要時間を割り出し、最後の追い込みをかけます。

◎ 公立高校合格コース 入試攻略ポイント

国語	大問2が古文から漢文の書き下し文に変わったほかは、大問構成に変化はない。大問1は説明的文章、大問3は随筆、大問4は作文という出題。大問1の説明的文章では、本文の内容を示した図を使った問題が例年出されている。大問4の作文は、標語を読んで書く作文が出た。レベル的には高くない。対策としては、古典分野の知識をしっかりと付けておくこと。現代文では、演習を重ね、文章を忠実に捉える事が出来るようになっておきたい。
理科	大問は物化生地からそれぞれ2問ずつの出題で、実験観察に関する問題が多く出ている。大問7では、全身を映すために必要な鏡の大きさを調べる実験の問題が出た。また作図問題も出ていて、特に大問2の生物では遺伝子の伝わり方を示す図を完成させる問題が出た。今まで実際にやってきた実験の手順から、結果までを完全に復習しておきたい。また、きちんとした知識を付けておけば高得点もできる内容なので、理科が得意という方は9割以上の得点を期待できる。
数学	大問1は小問集合。大問2は連立方程式の文章題。大問3は連続する2つの奇数に関する式の証明問題。大問4は関数の問題。大問5は平面図形、大問6は空間図形の問題。一部の学校で追加問題として、確率の問題と、証明問題を含む平面図形と回転体の問題が出題された。小問集合でのケアレスミスは致命的な失点となる。レベル的には易しい問題・難しい問題がはっきりしているので、実力がそのまま出やすい。いかにミスなく、正答率の低いを拾えるかがポイント。
社会	大問1・2は歴史、大問3・4は地理、大問5・6は公民が出題された。3分野で文章記述問題が出題されているので、文章を簡潔にまとめる力をつけておく必要がある。地理では複数の資料を読み取る問題が出題されているので、正確に資料を読み取る力も必要。作図問題も出題されている。社会が好きで、勉強時間を確保できている方にとっては、とても易しい問題。繰返しの問題演習で、1問1答形式の問題でも完璧に覚えていけば、それだけでもかなりの点は取れる。かけた時間の分だけ得点は伸びる。
英語	基本的な構成は例年どおり。大問1はリスニング。大問2は対話文に適切な文を補充する文法問題。大問3は対話文読解。大問4は長文読解で、下線部の内容を日本語で説明する問題などが出た。大問5は、英語の質問に対して自分の考えを25語以上で書く英作文問題。全体的には基本問題だが、大問3・大問4・大問5で差が出るような構成。各教科で言える事だが、いかにケアレスミスなく、正答率の低い問題で点を拾っていかけるかが鍵となる。上位校を目指す方は細かい部分までの復習・ミスをしない正確さが必要。